



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月30日

上場会社名 株式会社秋田銀行
 コード番号 8343 URL <https://www.akita-bank.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 新谷 明弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画部長 (氏名) 皆川 剛
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 特定取引勘定設置の有無 無
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(百万円未満、小数点第1位未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	31,672	4.2	4,631	1.4	2,934	3.5
2019年3月期第3四半期	33,087	3.6	4,565	14.7	3,043	29.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 5,988百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 3,406百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	163.85	—
2019年3月期第3四半期	169.56	169.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	3,123,840	182,788	5.8
2019年3月期	3,024,615	178,393	5.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 182,131百万円 2019年3月期 177,662百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権 - 期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2020年3月期	—	40.00	—		
2020年3月期(予想)				40.00	80.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 1. 2020年3月期の第2四半期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当5円00銭
 2. 2020年3月期(予想)の期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当5円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	20.7	3,000	27.5	167.92

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	18,093,643 株	2019年3月期	18,093,643 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	228,728 株	2019年3月期	143,074 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	17,908,376 株	2019年3月期3Q	17,951,143 株

(注)2020年3月期3Qの期末自己株式数には、BIP信託が保有する当行株式数(87,900株)を含めております。

また、2020年3月期3Qの期中平均株式数を算定するにあたり、BIP信託が保有する当行株式の期中平均株式数(43,897株)を控除する自己株式数に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・	P. 4
(3) 継続企業の前提に関する注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・	P. 6
(参考) 2020年3月期 第3四半期決算の状況（四半期決算補足説明資料）・・	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

経常収益は、資金運用収益の減少により、前年同期比 14 億 1 千 5 百万円減少し 316 億 7 千 2 百万円となりました。経常費用は、資金調達費用や国債等債券売却損の減少により、14 億 8 千 2 百万円減少し 270 億 4 千万円となりました。

この結果、経常利益は、前年同期比 6 千 6 百万円増加し 46 億 3 千 1 百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産の減損損失により特別損益が悪化したことから、1 億 9 百万円減少し 29 億 3 千 4 百万円となりました。

セグメント別の業績については、銀行業務は、経常収益が前年同期比 14 億 5 千万円減少の 280 億 1 千 3 百万円、経常利益は 4 千 6 百万円増加の 45 億 4 千 6 百万円となりました。

リース業務は、経常収益が前年同期比 3 千 1 百万円減少の 35 億 4 千 9 百万円、経常利益は 2 千 6 百万円減少の 8 千 7 百万円となりました。

クレジットカード業務等のその他の業務は、経常収益が前年同期比 6 千 8 百万円減少の 10 億 3 千 4 百万円、経常利益が 3 千 1 百万円減少の 3 億 4 千 7 百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総預金（譲渡性預金を含む。）

個人預金および法人預金の増加により、前連結会計年度末比 573 億円増加し 2 兆 7,256 億円となりました。

貸出金

個人ローンは増加しましたが、事業先向け貸出および地公体向け貸出の減少により、前連結会計年度末比 146 億円減少し 1 兆 6,527 億円となりました。

有価証券

前連結会計年度末比 491 億円増加し、7,193 億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2019 年 11 月 11 日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
現金預け金	595,933	647,477
コールローン及び買入手形	1,480	8,193
買入金銭債権	8,182	6,896
商品有価証券	536	5
金銭の信託	—	1,023
有価証券	670,231	719,355
貸出金	1,667,321	1,652,737
外国為替	1,471	2,203
その他資産	57,808	62,949
有形固定資産	20,617	20,290
無形固定資産	1,737	1,681
退職給付に係る資産	2,811	2,968
繰延税金資産	344	354
支払承諾見返	8,333	9,932
貸倒引当金	△12,193	△12,227
投資損失引当金	△0	△0
資産の部合計	3,024,615	3,123,840
負債の部		
預金	2,574,268	2,589,249
譲渡性預金	94,074	136,418
コールマネー及び売渡手形	11,999	41,583
債券貸借取引受入担保金	45,913	70,114
借入金	83,799	63,377
外国為替	270	127
その他負債	12,279	13,630
役員賞与引当金	20	10
退職給付に係る負債	2,666	2,557
役員退職慰労引当金	21	23
株式給付引当金	—	68
睡眠預金払戻損失引当金	639	518
偶発損失引当金	726	836
繰延税金負債	9,609	11,053
再評価に係る繰延税金負債	1,598	1,553
支払承諾	8,333	9,932
負債の部合計	2,846,221	2,941,052
純資産の部		
資本金	14,100	14,100
資本剰余金	9,212	9,212
利益剰余金	121,664	123,250
自己株式	△509	△670
株主資本合計	144,468	145,893
その他有価証券評価差額金	31,452	34,355
繰延ヘッジ損益	—	3
土地再評価差額金	2,980	2,981
退職給付に係る調整累計額	△1,238	△1,102
その他の包括利益累計額合計	33,194	36,238
新株予約権	84	—
非支配株主持分	646	656
純資産の部合計	178,393	182,788
負債及び純資産の部合計	3,024,615	3,123,840

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
経常収益	33,087	31,672
資金運用収益	19,646	18,549
(うち貸出金利息)	12,663	12,227
(うち有価証券利息配当金)	6,557	6,116
役務取引等収益	5,135	5,164
その他業務収益	6,760	5,924
その他経常収益	1,545	2,033
経常費用	28,522	27,040
資金調達費用	1,228	556
(うち預金利息)	421	292
役務取引等費用	1,809	1,752
その他業務費用	6,325	5,360
営業経費	17,943	17,728
その他経常費用	1,215	1,642
経常利益	4,565	4,631
特別利益	9	4
固定資産処分益	9	4
特別損失	168	458
固定資産処分損	38	144
減損損失	130	314
税金等調整前四半期純利益	4,406	4,177
法人税、住民税及び事業税	1,215	1,173
法人税等調整額	136	60
法人税等合計	1,351	1,234
四半期純利益	3,054	2,943
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,043	2,934

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	3,054	2,943
その他の包括利益	△6,460	3,045
その他有価証券評価差額金	△6,750	2,905
繰延ヘッジ損益	△0	3
退職給付に係る調整額	290	136
四半期包括利益	△3,406	5,988
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,417	5,977
非支配株主に係る四半期包括利益	11	10

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(参 考) 2020年3月期 第3四半期決算の状況

1. 損益の状況(単体)

(単位：百万円)

2020年3月期
通期予想値
(12か月累計)

		当第3四半期(A) (2020年3月期)	前第3四半期(B) (2019年3月期)	比 較 (A)-(B)
経 常 収 益	1	28,013	29,463	△ 1,450
①業 務 粗 利 益	2	21,167	21,398	△ 231
コア業務粗利益(①-②)	3	20,765	21,263	△ 498
資 金 利 益	4	18,275	18,804	△ 529
役 務 取 引 等 利 益	5	2,553	2,390	163
そ の 他 業 務 利 益	6	337	203	134
(②うち国債等債券損益)	7	401	135	266
経 費 (除 く 臨 時 処 理 分)	8	16,888	16,922	△ 34
人 件 費	9	8,923	9,143	△ 220
物 件 費	10	6,829	6,674	155
税 金	11	1,135	1,104	31
コア業務純益(③-②)	12	3,877	4,340	△ 463
コア業務純益(除く投信解約損益)	13	2,607	3,511	△ 904
③ 実 質 業 務 純 益	14	4,278	4,475	△ 197
④一般貸倒引当金繰入額(△は戻入益)	15	715	△ 203	918
業 務 純 益	16	3,563	4,678	△ 1,115
臨 時 損 益	17	983	△ 178	1,161
⑤ 不 良 債 権 処 理 額	18	423	822	△ 399
うち個別貸倒引当金繰入額	19	208	669	△ 461
株 式 等 関 係 損 益	20	1,447	879	568
そ の 他 臨 時 損 益	21	△ 41	△ 235	194
経 常 利 益	22	4,546	4,500	46
特 別 損 益	23	△ 454	△ 159	△ 295
うち固定資産処分損益	24	△ 139	△ 29	△ 110
うち減損損失	25	314	130	184
税 引 前 四 半 期 純 利 益	26	4,092	4,340	△ 248
法人税、住民税及び事業税	27	1,028	1,061	△ 33
法 人 税 等 調 整 額	28	69	138	△ 69
法 人 税 等 合 計	29	1,097	1,199	△ 102
四 半 期 (当 期) 純 利 益	30	2,994	3,141	△ 147
与 信 関 係 費 用 (④ + ⑤)	31	1,138	619	519

4,300

4,800

3,000

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

○ コア業務純益は、前年同期比 463 百万円減少し 3,877 百万円となりました。

(通期予想値 4,300 百万円に対する進捗率は 90.1%)

役務取引等利益は、生保販売手数料やシグキートン・ソラジェの増加により前年同期比 163 百万円増加したものの、資金利益は、有価証券運用平残が減少したことを主因に 529 百万円減少しました。

○ 経常利益は、46 百万円増加し 4,546 百万円となりました。

(通期予想値 4,800 百万円に対する進捗率は 94.7%)

コア業務純益の減少に加えて与信関係費用が 519 百万円増加したものの、国債等債券損益は 266 百万円好転し、株式等関係損益は 568 百万円好転しました。

○ 四半期純利益は、147 百万円減少し 2,994 百万円となりました。

(通期予想値 3,000 百万円に対する進捗率は 99.8%)

経常利益は増加したものの、固定資産の減損損失により特別損益が 295 百万円悪化しました。

2. 金融再生法開示債権(単体)

- 金融再生法開示債権は前年同月末比 17 億円増加したことから、不良債権比率は 0.12 ポイント上昇して 2.09%になりました。
- 部分直接償却を実施した場合の不良債権比率は 1.72%になりました。

(注) 記載金額は億円未満を四捨五入して表示しております。

	(単位：億円)		(参考)(単位：億円)	
	2019 年 12 月末	2018 年 12 月末比	2018 年 12 月末	2019 年 3 月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	94	△ 7	101	97
危険債権	246	16	230	238
要管理債権	12	8	4	27
合 計 (A)	352	17	335	362
対象債権 (B)	16,778	△ 183	16,961	16,879
不良債権比率(A)/(B)	2.09 %	0.12 %	1.97 %	2.14 %

当行は部分直接償却を実施しておりませんが、仮に実施した場合の債権額残高は次のとおりであります。

	(単位：億円)		(参考)(単位：億円)	
	2019 年 12 月末	2018 年 12 月末比	2018 年 12 月末	2019 年 3 月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	31	0	31	27
危険債権	246	16	230	238
要管理債権	12	8	4	27
合 計 (A)	289	23	266	292
対象債権 (B)	16,715	△ 176	16,891	16,808
不良債権比率(A)/(B)	1.72 %	0.15 %	1.57 %	1.73 %

3. 自己資本比率(国内基準)

2019 年 12 月末の自己資本比率(国内基準)については現在算出中であり、確定次第、別途開示する予定であります。

4. その他有価証券の評価差額（単体）

○ その他有価証券の評価差額は、債券は減少したものの、株式とその他が増加したことから、前年同月末比 97 億円増加し 485 億円となりました。

	(単位：億円)				(参考) (単位：億円)			
	2019 年 12 月末				2018 年 12 月末			
	評価差額	2018 年 12 月末比	うち益	うち損	評価差額	うち益	うち損	2019 年 3 月末 評価差額
その他有価証券	485	97	494	9	388	414	26	444
株式	309	46	315	5	263	269	6	279
債券	63	△ 14	64	1	77	77	0	83
その他	112	65	115	2	47	67	19	81

(注) 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

5. 預金、貸出金および預り資産等の推移（単体）

- 預金は、個人および法人預金の増加により、前年同月末比 503 億円増加し 2 兆 7,327 億円となりました。（増加率 1.8%）
- 貸出金は、個人ローンや事業先向け貸出は増加したものの、地公体向け貸出の減少により前年同月末比 230 億円減少し 1 兆 6,570 億円となりました。（増加率△1.3%）
- 預り資産の残高は、生命保険の増加により前年同月末比 100 億円増加し 2,377 億円となりました。（増加率 4.3%）

(1) 預金、貸出金の残高

	(単位：億円)		2018 年 12 月末	(参考) (単位：億円)
	2019 年 12 月末	2018 年 12 月末比		
預金（譲渡性預金含む）	27,327	503	26,824	26,756
うち個人預金	18,165	406	17,759	17,572
貸出金	16,570	△ 230	16,800	16,712
うち個人ローン	3,778	51	3,727	3,747

(注) 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

(2) 預り資産の残高

	(単位：億円)		2018 年 12 月末	(参考) (単位：億円)
	2019 年 12 月末	2018 年 12 月末比		
公 共 債	67	△ 1	68	71
投 資 信 託	626	△ 14	640	678
生 命 保 険	1,684	117	1,567	1,605
合 計	2,377	100	2,277	2,355

(注) 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

(以 上)